作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
プランニング演習		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	74回	0単位（148時間）	選択	鵜篭　正木　谷澤

授　業　の　概　要

スケール感を身に付け、インテリア空間を機能的かつ美しくまとめる能力を養う

授業終了時の到達目標

前期、オリジナルデザインのテナント店舗の空間を計画・提案できる
後期、選択課題とし、より専門的な技術を習得

	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

実在する空間を数多く見て、使って研究する
様々な情報を集める癖をつける
なぜそうなのか、常に理由を考える癖をつける

回	テ　ー　マ	内　　容
1	コンセプトワークとは	コンセプトワークの進め方を理解する
2	コンセプトワーク実習	写真から言葉を連想し、様々な角度から物事の考える力を身に付ける
3～12	課題①自室のコーディネート	コンセプトワーク、簡易プランニング、コーディネートボード制作を通して、プランニングの一連の流れを理解する
13～30	課題②物販店の提案	ヒアリング、コンセプトワーク、プランニング、コーディネートボード制作、模型制作、プレゼンテーション
31～74	課題③修了制作	住宅のリフォームorディスプレイ製作のどちらかを選択し１年間の集大成となる作品制作（コンセプトワーク、プランニング、製作）を通してプランニングの基礎を身に付ける

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
建築・インテリア系雑誌 資料集成	出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	正木　香奈

授　業　の　概　要

幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、20年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

専門用語(用語辞典の活用)を早く習得する
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	カーテンとレールについて	カーテンの種類・特徴・部分名称やレールの種類・部品・施工方法を理解する
2	カーテンスタイルやローマンシェード・その他の窓装飾につい	スタイル・ローマンシェード・ブラインド・ロールスクリーンの種類・特徴を理解する
3	カーテンプランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランの作り方を理解する
4	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる
5	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる
6	カーテンプランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、カーテンプランを仕上げる
7	光の種類や照明ランプについて	光の区別・単位・ランプの種類と特徴を理解する
8	照明器具について	照明器具の種類と特徴を理解する
9	照明プランの作り方	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランの作り方を理解する
10	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げる
11	照明プランの仕上	今まで学習してきたことを踏まえて、照明プランを仕上げる
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り
13～15	課題制作	
16	家具について	イスについて理解する
17	家具について	机について理解する
18	木造の基礎について	木造の基礎や地業について理解する
19	木造の構造について	木造の軸組について理解する
20	木造の壁体・開口部について	木造の筋かい・開口部について理解する
21	木造の接合について	木造の継手仕口・接合金物について理解する
22	床の下地と仕上材について	床の下地・仕上材について理解する
23	壁の下地と仕上材について	壁の下地・仕上材について理解する
24	天井・屋根の下地と仕上材について	各部の下地・仕上材について理解する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎Ⅱ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	正木　香奈

授　業　の　概　要

幅広い知識を身につけるため、1コマ1コマ盛り沢山の内容となっており、すぐに実践に生かせるように学習する

授業終了時の到達目標

専門的用語を理解し、インテリア設計士に合格

実務経験有無	実務経験内容
有	フリーランスのインテリアコーディネーターとして、20年間従事 経験を活かして実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
1	人間工学の定義について	人間工学と人体寸法の基礎を理解しよう
2	人体寸法の略算値	人体の大きさと重さ、作業域について理解しよう
3	人間の行動特性について	ポピュレーションステレオタイプの意味について理解しよう
4	人間工学的な家具①	快適な椅子の条件を理解しよう
5	人間工学的な家具②	机の高さの求め方、ベッドの寸法を理解しよう
6	人間工学的な家具③	マットレスについて理解しよう
7	人間工学的な家具④	寝具について理解しよう
8	空間の配置と規模の検討①	建築設計の高さ方向の寸法を理解しよう
9	空間の配置と規模の検討②	住宅の平面寸法を理解しよう
10	空間の配置と規模の検討③	動線計画を理解しよう
11	前期試験前のまとめ	小テストの実施と解説
12	前期試験	前期試験の実施と授業の振り返り
13～15	課題制作	
16	モデュラーコーディネーションについて①	モデュラーコーディネーション、モジュールについて理解しよう
17	モデュラーコーディネーションについて②	グリッド、畳の寸法について理解しよう
18	生活場面の構成①	ＬＤＫについて理解しよう
19	生活場面の構成②	Ｌ、Ｄ、Ｋそれぞれについて理解しよう
20	バリアフリー①	バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解しよう
21	バリアフリー②	高齢者に対するインテリア計画の配慮点について理解しよう
22	バリアフリー③	車椅子の寸法と動作空間について理解しよう
23	バリアフリー④	バリアフリー計画（エクステリア・玄関）について理解しよう
24	バリアフリー⑤	バリアフリー計画（廊下・階段・浴室）について理解しよう

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリアコーディネーター合格教本 インテリア設計士テキスト	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:正木　香奈

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎演習Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2024／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	18回	0単位（36時間）	必須	正木　香奈

授　業　の　概　要

・インテリア設計士学科試験の試験対策
・インテリアデザインに関する基礎知識の習得

授業終了時の到達目標

インテリア設計士学科試験合格

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
1	インテリア設計士試験について インテリアデザイン論	インテリアデザインとインテリア設計士についての確認をし、空間構成及び住宅とインテリアについて理解する
2	材料	木材、突板について
3	材料	木質系材料について
4	材料	石材、ガラスについて
5	材料	石材、ガラスについてタイル、レンガ、金属材料について
6	材料	タイル、レンガ、金属材料についてプラスチック、塗料・塗装について
7～8	材料まとめ	プラスチック、塗料・塗装について
9	構造・生産	建築の構造①
10	過去問題	
11～12	構造・生産	室内造作と各部の名称 インテリアの構法
13～14	法規・法令	インテリア設計関連法規・法令
15	インテリアデザイン基礎	形と空間構成、色彩・表現方法
16	インテリアデザイン基礎	形と空間構成、色彩・表現方法
17～22	過去問／解答解説	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト　学科編 インテリア設計士テキスト　実技編 インテリアコーディネーターハンドブック〈下〉	出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	40.0% 10.0% 10.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
造形演習		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	60回	0単位（120時間）	必須	鵜篭　谷澤

授　業　の　概　要

図面上のコーディネートだけにとどまらず、実際のクロス、ファブリックに触れて、カラーコーディネィトの基礎、小道具を含めた実践力となるディスプレイ、ショウイングを身に着ける

授業終了時の到達目標

コンセプトイメージを、立体の色、形、テクスチャーとして組み立て、スタイリングとして表現することを習得する

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

インテリア関係の雑誌をたくさん見る

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	オリエンテーション	コンセプト作り、企画デザイン、ディスプレイの仕掛け方等、商空間デザインのプロセスを理解する
3～6	アートフレーム	立体コラージュ コンセプトテーマに沿った、アートフレーム制作
7～10	ミニブース	ツールの使い方を含めた立体スタイリングのノウハウ （テーブルコーディネイト、ディスプレイ実習）
11～14	ラッピング	ラッピングの基本の包み方３種を習得、と同時にペーパーやリボンのカラーコーディネイト実習
15～23	イメージディスプレイ（グループ制作）	ウィンドウをイメージしたスペースに、壁紙コーディネイト、什器デザイン、ショウイングを含む空間ディスプレイのプレゼンテーション
24	プレゼンテーション	
25～30	課題製作	作品のブラッシュアップ
31～32	インテリアセラピー	ヒーリングカラー＆素材の使い方
33～34	郊外学習	住宅展示場の見学
35～38	ウィンドウディスプレイ１/１０モデル	１/１０スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型制作①（コンセプトメイキング、プラン）
39～40	郊外学習	モデルルームの見学
41～48	ウィンドウディスプレイ１/１０モデル	１/１０スケールのショップディスプレイのプレゼンテーション用模型制作②（製作）
49～52	カラーコーディネイトフレーム	カーテン生地や、壁紙のカラーコーディネイト実習として、フレームを制作
53～54	プレゼンテーション まとめ	作品プレゼンテーション、まとめ
55～60	課題製作	作品のブラッシュアップ

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 課題・レポート 授業態度	30.0% 60.0% 10.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
モデリング		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

スチレンボードをメインの材料として、平面を立体で表現する力を身につける

授業終了時の到達目標

模型制作を通して立体感覚を養う
実寸のミニチュアを作ることで、目視で確認する能力を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

カッターに慣れる
スケール感覚を身につける

回	テ　ー　マ	内　　容
1	模型とは カッターの使い方	道具・材料の説明 道具の使い方
2	課題①立方体、円柱	一枚残し、糊付け
3～5	課題②住宅模型	模型図面 開口部 仕上げ材の表現方法
6～7	課題③家具・植栽・敷地	細部の表現方法について
8～12	課題④２階建住宅模型	住宅模型の応用

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
配布プリント	出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

作成者:川崎　耕平

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
パース演習		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	36回	0単位（72時間）	必須	川崎　耕平

授　業　の　概　要
完成予想図の表現方法を学ぶ

授業終了時の到達目標
インテリアデザインにおける透視図法（1点透視・2点透視）の技術習得 室内表現（家具・小物）、人物クロッキーの技術習得

実務経験有無	実務経験内容
有	RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経て験あり。手書きのパースを普段の業務で使用。

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	自室の作図	現状での技術で制作、確認
2～3	パースの基本	透視図について(1点透視・2点透視・3点透視)
4～5	パースの基本	小物のパース　家具のパース
6～7	パースの基本	インテリア空間
8～10	パースの基本	インテリア空間（1消点パースグリッド） 楕円の復習
11～24	インテリア設計士課題	インテリア設計士対策（過去問題課題、今年の問題課題）
25～30	課題制作	
31	パースの応用①	さまざまな空間の作成（1消点）
32～33	パースの応用②	さまざまな空間の作成（1消点）
34～36	修了制作のパース制作	各自修了制作に取り組む

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 授業態度 課題・レポート 実習・実技評価	10.0% 10.0% 40.0% 40.0%	

作成者:谷澤　紗恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
色彩計画		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	0単位（60時間）	必須	谷澤　紗恵

授　業　の　概　要

好き嫌いなどの感覚的な表現だけでなく、理論的・体系的に色づかいができる知識や技法を養い、あらゆるデザインのカラーコーディネートに活かせるようになる

授業終了時の到達目標

「色」の基礎知識習得の証として各分野のデザイナー、販売、企画といった幅広い職種から認知されている公的資格「(文部省後援)色彩検定3級」の取得

実務経験有無	実務経験内容
有	住宅の現場管理・コーディネート　クリエイターとしての自己ブランドの商品の作成・販売 現場での実体験を元に実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	授業の目的と進め方について 光と色の関係	可視光とは何か理解する
2	PCCS三属性	有彩色と無彩色、色相・明度・彩度を理解する
3	PCCSトーン	トーンについて理解する
4	過去問 PCCS色の表示、PCCS色立体	過去問を一通り解いてみる 色の表示方法について理解する 色立体の考え方を理解する
5	小テスト	三属性、色立体、色名、トーン名の確認
6	照明と色の見え方 三原色と混色	照明による効果と色の見え方を理解する 加法混色の三原色と減法混色の三原色を理解する 加法混色と減法混色について理解する
7	色彩心理 色彩感情と色のイメージ	色から連想されるもの、受けるイメージについて理解する
8	色対比	色の対比について理解する
9	配色①、②	色相配色について理解する （同一色相・隣接色相・類似色相・中差色相・対照色相・補色色相） トーン配色について理解する （同一トーン・類似トーン・対照トーン）
10	配色③	明度配色、彩度配色について理解する アクセントカラー・セパレーションカラー・グラデーションについて理解する
11	眼の仕組み	眼の仕組みについて理解する
12	前期末試験	試験・解説
13	前期の復習	前期授業内容の確認
14	ファッションの色彩	ファッション色彩(流行色・嗜好色等)について理解する
15	インテリアの色彩、エクステリアの色彩	インテリア、エクステリアの色彩について理解する 色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する
16	過去問題①	
17	過去問題①解答解説	
18	過去問題②	
19	過去問題②解答解説	
20	過去問題③	
21	過去問題③解答解説	
22	検定問題の解説	
23	インテリアにおける色彩計画	色彩がインテリア空間にどのような影響を与えるのか確認する
24	後期末試験	
25～30	最終課題作成	テーマに沿った課題を作成。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
色彩検定公式テキスト3級 配布プリント カラーカード	出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

作成者:鈴木　友里恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
MAC演習		トータルインテリア学科／1年	2023／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	0単位（60時間）	必須	鈴木　友里恵

授　業　の　概　要

Macの基本操作や設定について学ぶ。
レイアウトデザインの基本技術を習得。

授業終了時の到達目標

・MacOSの基本操作を習得する。
・Illustrator及びPhotoshopの基本操作を習得する。
・Illustrator及びPhotoshopを使用して、プレゼンボードを制作できる。

実務経験有無	実務経験内容
有	ウェディング専門の写真館に3年勤務（人物撮影が主）。デザイン会社でグラフィックディレクター・フォトグラファーとして7年勤務。合同会社higotoを立ち上げ、代表社員・アートディレクター・フォトグラファーとして実務経験あり。

時間外に必要な学修

・次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う
・ジャンル問わずさまざまなデザインに触れ、表現方法や意図について興味を持ったり、考察する。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	Illustrator及びPhotoshopの基本操作	作品例の紹介及び基本的なソフトの使い方、拡張子やデータの大きさについて
2	Illustrator①図形や線を描く	新規ドキュメントからイラスト制作を行い保存までについて（図形やペンツールを使用）
3	Illustrator②タイプを学ぶ	文字入力の仕方や適切なポイント数・文字詰め・色・アウトライン化について
4	Photoshop①写真加工	レタッチの基本
5	Photoshop②写真加工	写真の切り抜き方法や画像の保存形式について
6	Illustrator③その他の機能	切り抜きした画像をAIで配置したり、クリッピングマスクの方法について
7	Illustrator④その他の機能	整列やスウォッチを使って作業効率をあげる
8	Illustrator⑤確認課題A	IllustratorとPhotoshopを使って2年次に使用する名札のデザイン（トンボや塗りたし）
9	Photoshop③写真加工	消しゴムツールや足りない画像の加工方法について
10	Photoshop④写真加工	スキャナーの使い方や合成方法
11	Photoshop⑤写真加工	Photoshop制作上の注意点や解像度、保存について
12	Illustrator⑥制作～入稿確認	制作の流れやデータのまとめ方について（制作の組み立て法、パッケージ、データサイズ、拡張子）
13～15	Photoshop⑤確認課題B	IllustratorとPhotoshopを使って雑誌のレイアウトを再現する
16～18	コンセプトボードをつくろう	トンボ・塗りたし・文字のアウトライン化・リンクなど
19～20	ポートフォリオのレイアウト作成	ロゴの作り方 画像の配置とリンクについて
21～30	ポートフォリオ制作	表紙のアイデア出し ページレイアウト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
配布プリント これからはじめる Illustrator & Photoshopの本	課題・レポート 授業態度 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
インテリア製図		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

製図の道具の使い方や製図の書き方の基礎を習得しながら図面を仕上げていく

授業終了時の到達目標

部材の書き分けを理解し、美しい線が書けるようになる
図面に必要な表示記号、平面図、展開図が書けるようになる
インテリア設計士持込用の図面を作成できる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 建築士試験　学科・製図　社会人講座講師

時間外に必要な学修

平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習（予習・復習の実施）
より多くの図面を見て、読み解く

回	テ　ー　マ	内　　容
1	製図とは 三角スケールの使い方	製図の基本的知識 道具の使い方、線の書き方
2	線の練習	線の練習 線の書き方、平行定規の使い方、定規の使い方
3	線の練習	課題製作、提出
4	表示記号	表示記号の書き方 扉、窓、仕上げ、材質の下書きとペン入れ
5	表示記号	課題製作、提出
6～12	インテリア設計士用図面作成	課題を読む　エスキス　作図

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリア設計士　実技編	出席率 課題・レポート 授業態度	20.0% 60.0% 20.0%	

作成者:谷澤　紗恵

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
IC基礎演習Ⅱ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	18回	0単位（36時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

インテリア設計士の図面課題を中心に演習することにより、平面図、展開図、家具詳細図などの作図方法を習得する

授業終了時の到達目標

インテリア設計士実技試験合格

実務経験有無	実務経験内容
有	住宅の現場管理・コーディネート 現場での実体験を元に実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

平行定規、三角定規等を使って繰り返し練習（予習・復習の実施）
より多くの図面を見て、読み解く

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション 作図方法の確認	インテリア設計士実技課題の傾向と対策 （先輩の優秀作品より）
2～3	平面図	平面図の作図（トレース）
4～5	展開図	展開図の作図（トレース）
6～7	家具図	家具図の作図（トレース）
8～12	過去問トレース 今年度課題作図	エスキスからプラン～作図まで（パース含む）
13～18	課題製作	プランニング演習の作図

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
インテリア設計士テキスト　実技編 配布プリント	出席率 課題・レポート 授業態度	5.0% 90.0% 5.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅠ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　谷澤

授　業　の　概　要
トータルインテリア学科1，2年生を混成の班に分け、コンセプトワーク、プラン、プレゼンという過程を経て制作物を作成する能力を養う

授業終了時の到達目標
1，2年で協力しクオリティの高い制作物を作る 2年生はコンセプトワークや作業の手順等を伝えるとともに1年生の「良さ」を引き出し成果物に反映させる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修
物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける 実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	班分け 課題発表①	班分けを発表し、アイスブレイク 課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン
2～4	プレゼン 制作	各班のプランをプレゼン 制作（全員）
5～ 11	課題発表②	課題発表 スケジュール発表 コンセプトワーク、エスキス、プラン 企画プレゼン（教員了承後）
12	完成プレゼン	完成プレゼンテーションを行う

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般	出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
総合デザインⅡ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　谷澤

授　業　の　概　要

学年の枠を超えたグループでの取り組みを行うことにより、コミュニケーション能力と人間力を養う
与えられた空間・予算内で常に新しい表現で感動を与えるモノを作る

授業終了時の到達目標

グループ制作を通して企画・制作・発表を行う中で積極的に人間関係を構築し、社会性や自主性を養い自己表現することが出来る
空間トータルデザインを考える

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	グループ顔合わせ 目標設定 課題発表①	頭の柔軟体操 半期の目標設定
2～6	プランニング プレゼン 制作	テーマに沿った企画を考え意見交換を行いまとめる ※予算の感覚を身に付ける
7	課題発表②	企画・提案 展示方法・学科としてできることについて
8	プレゼンテーション	企画発表
9～12	制作	素材、制作方法について話し合い・試作をしながら進める

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般	出席率 授業態度 実習・実技評価	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:鵜篭　麻美

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
スペースデザイン演習Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	鵜篭 麻美

授　業　の　概　要

習得してきた知識と技術を活かして、実在空間についてプランから制作及び設営まで手順を理解する
様々な課題を通してスケール感や空間構成能力を養う

授業終了時の到達目標

クラス全員のグループ制作と捉え、各自の役割を理解し、責任を持って計画的に作業を遂行することで、完成度の高い空間づくりができるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

物事を柔軟に捉えることができるよう習慣づける
実物の材料を見て触って知識を具体化し定着させる

回	テ　ー　マ	内　　容
1～2	名作椅子の模型製作①	選択 図面制作
3～5	名作椅子の模型製作②	模型制作
6	プレゼンテーション	
7	６階ミニディスプレイの提案①	出題 実測
8～11	６階ミニディスプレイの提案②	エスキス～図面・模型
12	プレゼンテーション	
13～15	実制作	制作手順を考えてクオリティ高い作品に仕上げる

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
デザイン系雑誌全般	出席率 課題・レポート 授業態度	30.0% 50.0% 20.0%	

作成者:川崎　耕平

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
CAD演習		トータルインテリア学科／1年	2024／通年	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	24回	0単位（48時間）	必須	川崎　耕平

授　業　の　概　要

JWWの基本操作の習得

授業終了時の到達目標

JWWを使いこなし、作図できる

実務経験有無	実務経験内容
有	RC造の現場管理を10年、木造と鉄骨造の現場管理を12年経験。リフォーム工事、大規模改修工事も経験あり。施工図、納まり図、工程表などをCADにて作成。

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション	
2	JWWとは	JWWについて インストール
3	設定	標準設定
4	基本操作①	左右のクリックの違い
5	基本操作②	拡大・縮小・移動
6	基本操作③	ドラッグ
7	コマンド①	線コマンド
8	コマンド②	円コマンド
9	コマンド③	文字・寸法コマンド
10	コマンド④	消去コマンド
11	コマンド⑤	移動・複写コマンド
12	コマンド⑥	伸縮・コーナーコマンド
13	コマンド⑦	複線コマンド
14	コマンド⑧	ハッチ・図形コマンド
15	寸法の決まった図をかく①	簡単な図形の作図
16	寸法の決まった図をかく②	
17	図形を開き、加筆・印刷しよう①	図形ファイルからの作図
18	図形を開き、加筆・印刷しよう②	
19～24	課題制作	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
はじめて学ぶJW_CAD(エクスナレッジムック)	出席率 授業態度 課題・レポート	10.0% 20.0% 70.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2024／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	0単位（30時間）	必須	松尾　誠司

授　業　の　概　要

就職活動・社会人生活に必要な心得や知識、立ち振る舞いを学び、練習する。

授業終了時の到達目標

就職活動に必要な考え方やスキルはもちろん、社会で活躍するライフスキルも身につく。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーション	社会人基礎講座Ⅱの目的と達成目標について
2	マンダラートを使った自己分析	マンダラートを用い、自分を見つめ直す。
3	自己PRを考える①	自分の長所をピックアップし掘り下げる。
4	自己PRを考える②	自己PRを文章にする。
5	社会人としての言葉遣い	敬語や謙譲語など、社会人として相応しい言葉遣いを学ぶ。
6	メールの書き方とマナー	企業とメールのやり取りをするときのポイントについて確認する。
7	遠隔会議システムの使い方	ZOOMやmeetなど遠隔会議システムの使い方と、面接時の注意点を確認。
8	業界・職種について	自身の目指す業種・職種について理解する。 ※目指す業界以外についても知っておこう
9	求人票の確認ポイント	求人票からどのような情報が手に入るかを確認する。
10	履歴書の書き方について	履歴書各項目記入のポイントや注意点について確認する。
11	志望動機を考える	企業を想定し、なぜ志望したかを文章にする。
12	身嗜み・準備物のチェック 挨拶と姿勢（立ち方・座り方）	就職活動に相応しい身だしなみと必要な準備物を確認する。 挨拶の種類や立姿勢、着席時の姿勢について確認、練習する。
13	企業訪問や面接時の立ち振る舞い	企業訪問や面接時にどのような行動をとればよいかを確認、練習する。
14	グループディスカッション	入社試験「グループディスカッション」を体験する。
15	今までの振り返り	学びの振り返りと確認を行う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題・レポート	100.0%	

作成者:松尾　誠司

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
作品展示計画Ⅰ		トータルインテリア学科／1年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	12回	0単位（24時間）	必須	鵜篭　麻美

授　業　の　概　要

各自オリジナルなプレゼンテーションを行う為の準備
様々なアイディアでデザイン展を盛り上げる

授業終了時の到達目標

限られた時間で、自分自身の考えを相手に伝えるプレゼンテーションが出来るようになる
制作を通して、協調性・積極性等の人間力を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	建築士・インテリアコーディネーターとして住宅・店舗の設計及びコーディネート 現場での実体験をもとに実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テ　ー　マ	内　　容
1～16	修了制作の制作	
17～19	プレゼン練習	
20～21	プレゼン	
22～24	デザイン展制作／設営	デザイン展’24

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	課題・レポート 授業態度 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	次回の授業内容を踏まえて、提示課題を用いた予習を行う。